

のと海洋ふれあいセンターの令和4年度管理状況

施設所管課	生活環境部自然環境課
施設管理者	(一財)石川県県民ふれあい公社
指定期間	平成30年4月1日～令和5年3月31日
中期経営目標 (H30～R4)	<ul style="list-style-type: none"> ・入館者数を5年間で5%増加させます。 ・利用者アンケートによる満足度は、引き続き95%以上を維持します。

1 中期経営目標達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組

(1) 実績

項 目	実施内容
① サービス向上・ 利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ○職員一同、来館者への親切・丁寧をモットーに対応している。 ○地域との協働で地域住民・高等学校と連携して、海中、海岸の清掃を実施した。 ○地元の小木中学校と海洋教育の一環として、漂着物を利用したモニュメントを制作した。 ○新型コロナウイルス感染症防止対策を実施して営業。 <ul style="list-style-type: none"> ・入館制限（展示室は一方通行） （本館、マリンシアター：40名以内、海の自然体験館12名） ・検温の実施、マスクの着用、アルコール消毒液の設置、定期的な館内の換気及びアルコール消毒の実施、 ・新型コロナウイルス感染防止対策を講じながら事業を実施した。「スノーケリング事業」、「パワー磯観察」 ・マリンシアターで使用した3Dメガネは超音波洗浄機で洗浄し、一人一人に手渡しするとともに、使用した座席については、使用の都度アルコール消毒を実施した。 ・ヤドカリ学級（通常年4月から3月まで月1回開催の10回（1・12月を除く））を実施した。 ・海の自然体験館での手作り教室のメニューを時間が要するものを除き5種類とした。 ○施設の利用促進 <ul style="list-style-type: none"> ・ホテルのときんぷらの宿泊者や能登少年自然の家の団体客の受け入れを強化するとともに、両施設の利用者にはプチクラフトを無料で提供した。 ・高校や大学の臨海実習の受け入れを実施した。（16校19回） ・県内で実施された観察会や実習等に職員を派遣。（4回） ・県民向け県内旅行応援事業の石川観光クーポン取扱店舗に登録。 ・展示物の随時補充・入替や映像の更新、調査研究成果のパネル展示を行うなど展示内容の充実に努めた。 ・磯の観察路について、毎日点検を行い支障箇所の確認や漂着物の撤去等の対応を行っている。 ○自主事業の企画・実施 <ul style="list-style-type: none"> ・「ヤドカリ学級」の開催（参加者数104人） ・体験学習（工作等）の提供（利用者数1,615人） ・九十九湾ダイビング事業の実施（利用者130人） ・「スノーケリング事業」 <ul style="list-style-type: none"> 体験スノーケリング（8回参加者45人） スノーケリング教室（6回参加者107人） スノーケリング指導者要請研修会（1回参加者13名） ・パワー磯観察（2回33名） ・「豊かな海」学ぶ会（10月1日来場者数等250名） 令和4年度において、初めて集客とPR及び地域との関係を兼ねたイベントを開催した。 協力団体：海上保安庁や能登町ふれあい公社等7団体 個人協力：2名（絵画講師・漂着ゴミアート講師） ・利用者（個人・団体）へのアンケートの実施 ・利用者に対し、コミュニケーションを図り、利用者ニーズの把握に努めている。

項目	日
② 広報活動	<p>○施設の情報提供、広報、広告</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ホームページの管理・運営 ・報道機関への情報提供 ・広報誌「能登の海中林NO.57、58」の発行（計3,000部） ・金沢市以北の県内（能登地区除く）の27小学校へ訪問 ・地元（能登町・輪島市・珠洲市・穴水町）の保育園・幼稚園・小中学校へ延べ45施設へ訪問し校長等へ説明。 <p>・「ホテルのときんぷら」と連携し、体験スノーケリング込みのセット料金でのPRを行った。</p> <p>・NHK等のマスコミへの取材協力や資料提供などを積極的に行うとともに、能登町の有線テレビを活用し、PRに努めている。</p> <p>・JAFと提携し、月刊誌に掲載するとともに、JAF会員にプチクラフト1個を無料提供することでPRに努めた（利用者50組）</p> <p>・主催事業の「ヤドカリ学級」のチラシについて、毎月、能登町内の公民館や道の駅等の公の施設に配布するとともに、町広報にも掲載してもらい周知に努めた。また、地方紙（2紙）の支局にも配布しPRに努めた。</p> <p>・年間の行事について、いしかわ自然学校の冊子に掲載し、周知に務めた。</p> <p>・ヤドカリ学級の年間計画を作成し、関係機関へ配布。</p> <p>・誘客営業にタブレット端末を活用し、当センターの臨場感のある事業風景を提案した。</p> <p>○周辺地域、関係機関との連携・協働の推進</p> <ul style="list-style-type: none"> ・関係機関、学校、公民館が主催する実習、研修会等へ講師派遣 ・年間の開催スケジュールを配布するなど、広報活動の強化に取り組んでいます。 <p>○地域との協働で地域住民・高等学校と連携して、海中、海岸の清掃を実施した。</p> <p>○前年度に引き続き、地元の小木中学校とでは、海洋教育の一環として、漂着物を利用したモニュメントを制作した。</p> <p>○道の駅、イカの駅、町内公民館、能登町ふれあい公社の宿泊施設（4施設）にチラシを配置するなどPRに務めた。</p>

(2) 令和5年度における取組内容の見直し等

実施内容
<ul style="list-style-type: none"> ・安心して利用していただけるよう、引き続き新型コロナウイルス感染防止対策を実施する。 ・電気料のアップや物価高騰の要因により、維持管理費が増えることが想定されるため、節電や節水等、効率の良い管理運営に努めることとする。 ・「ヤドカリ学級」について、毎月のテーマを変え実施する。 ・新型コロナウイルス感染症防止対策を講じながら、コロナウイルス感染症以前に戻して事業を実施する。 ・海の自然体験館での工作については、種類を見直し、作業時間が長い工作については、廃止するとともに、新しく「海藻レジン」（300円）を設定する。 ・利用者増を目指し、能登町ふれあい公社の2宿泊施設と契約し、2施設では当センターの「入館料込み」での宿泊セット料金で販売してもらい、入館料を徴収することにした。 ・また、同時に工作見本を展示してもらい、宿泊者にPRすることとしている。 ・芝生広場では、維持管理の費用が発生しないような「迷路を整備」し、利用者増に繋げることとしている。

2 中期経営目標の進捗状況

測定指標	H26～H28 平均 (基準値)	R2年度	R3年度	R4年度	前年度比	基準値比	R4年度 (目標値)
(1) 利用者数	14,041人	7,591人	4,974人	8,591人	172.7%	61.2%	14,800人
(2) 利用者アンケート における満足度							
利用者サービス	99.3%	98.6%	100.0%	100.0%	100.0%	100.7%	95.0%
施設の維持管理	98.8%	100.0%	98.9%	100.0%	101.1%	101.2%	95.0%

※基準値は中期経営目標における基準値

<利用者数、貸館稼働率など利用指標に係る増減理由>

指 標	対前年度増減理由	対基準値増減理由
利用者数	新型コロナウイルス感染防止対策の影響や能登地震により、小学校等の団体利用の減少。	新型コロナウイルス感染防止対策の影響や能登地震により、小学校等の団体利用の減少。

<利用者アンケート結果（令和4年4月～令和5年3月実施）>

項 目	回 答			
	良い	概ね良い	やや悪い	悪い
利用者サービス (有効回答数22件)	90.9%	9.1%	0.0%	0.0%
施設の維持管理 (有効回答数84件)	76.7%	23.3%	0.0%	0.0%

3 施設等の維持管理

項目	実施内容
(1) 清掃	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常清掃：毎日1回実施 ・ 定期清掃：年2回実施
(2) 設備保守点検	<ul style="list-style-type: none"> ・ 消防設備：年2回実施 ・ 映像設備：年2回実施 ・ 電気設備：年6回実施 ・ 機械設備：通年 ・ 海水取水設備：年2回実施 ・ 合併処理施設設備：月2回実施
(3) 植栽維持管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日常業務として週2～3回実施 ・ 年2回花の植え替えを実施
(4) 警備	<ul style="list-style-type: none"> ・ のと海洋ふれあいセンター本館及び海の自然体験館は機械警備による監視を実施
(5) 小規模修繕	<ul style="list-style-type: none"> ・ 磯の観察路飛び石修繕 ・ 本館浄化槽漏水補修 ・ 海の自然体験デッキ修繕 ・ 太陽光発電パワーコンデンサー修理 ・ 海の自然体験館エアコンリモコン修理

4 管理運営体制

項目	実施内容
(1) 緊急時の対応・安全管理などの危機管理	<ul style="list-style-type: none"> ・ 危機管理マニュアル(確認) ・ 消防訓練の実施 年2回(10/15、3/9) ・ 安全衛生会議の実施 月1回 ・ コンサルタントによる安全点検の実施 年1回(10/25) ・ 消防用設備等の点検(9/2、3/9)
(2) 個人情報の管理状況	(一財)石川県県民ふれあい公社における個人情報保護規定及び事務要綱に基づき、適正に管理

5 収支状況

(1) 使用許可等の状況

なし

(2) 使用料の収入実績(利用料金の収入及び減免の状況)

(単位：千円)

項目	収入額	減免額	減免理由
入場料	787	27	教育課程に基づく教育活動の実施のため
合計	787	27	

(3) 収支決算

(単位：千円)

収 入		支 出	
指定管理料	25,341	人件費	9,904
利用料収入	787	光熱水費（灯油のみ）	1,300
		修繕費	1,484
		その他	13,440
合 計 ①	26,128	合 計 ②	26,128
収支差額 ①－②	0		

6 利用者からの意見、苦情、要望

年 月	内 容	対 応
令和4年4月	展示してある魚種が分かると良いです。	展示している魚種については、季節的入れ替えをすることがあり、その都度、水槽横に写真に魚名を記載表示しているが、たまに抜けることがあり、ぬけないよう心掛けている。

7 事故、故障等

年 月	内 容	対 応
令和4年5月 令和4年10月	・磯の観察路飛び石転倒 ・本館浄化槽漏水	・修理完了 ・修理完了

8 その他報告事項など

なし

9 評価結果

評価項目	評価	所見（工夫・改善点）
(1) 中期経営目標の達成に向けたサービス向上・利用促進等の取組	B	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者アンケートや来館者との積極的なコミュニケーションを図り、利用者の声を運営に活かし、体験学充実等サービス向上に努めている。 ・新型コロナウイルス感染症の拡大防止対策を講じながら来館者の安全を確保しつつ、工作等の体験学習など、海の自然を題材とした様々な体験プログラムを実施している。 ・小学校への誘客訪問やチラシの配布など、学校団体等へのPR活動を積極的に実施している。 ・マスコミへの取材対応について積極的に行い、情報発信と利用促進に努めた。
(2) 施設等の維持管理	B	<ul style="list-style-type: none"> ・コンサルタント、本社担当職員による安全点検を実施し、来館者の安全・安心確保のため館内外の必要な補修、修繕を速やかに実施している。 ・日常の清掃や設備保守点検等が事業計画どおりに適切に実施されている。 ・毎朝の水温調査時に海岸施設の状況を確認している。 ・毎日の開館・閉館時に建物施設等の状況を確認している。
(3) 管理運営体制	B	<ul style="list-style-type: none"> ・安全衛生会議を常設し、月1回開催することにより管理体制の強化に努め、安全な管理運営を行っている。 ・職員配置や職員研修、個人情報の管理について、事業計画どおりに適切に実施されている。 ・通報訓練の実施や避難訓練の実施により、危機管理体制確保に努めている。
総合評価	B	<ul style="list-style-type: none"> ・施設の設置目的に沿った管理運営に加え、ノウハウを活かした利用促進に努めている。

○ 評価基準

- A（優）：仕様書等に定める水準を大いに上回っており、その結果、優れた実績をあげている
- B（良）：仕様書等に定める水準を上回っている
- C（可）：概ね仕様書等に定める水準どおり実施されている
- D（不可）：仕様書等に定める水準を下回っており、改善を要する部分がある

○ 総合評価

- A（優）：優れた管理運営がなされており、かつ、十分な実績をあげている
- B（良）：優れた管理運営がなされている
- C（可）：適正な管理運営がなされている
- D（不可）：改善が必要である

10 助言・指摘事項

なし